

崖線沿いに湧水が豊富だったころの遺跡や名所・旧跡が点在し工業地域の顔を併せ持つエリア
志村散策コース
 (本蓮沼駅←→志村坂上駅) 7.0km

「いたばしのおかしばなし」より
 ~御成塚でふんぞりかえる将軍様

江戸時代、中山道周辺はけもの群れが駆け回り、鳥もたくさん飛び回っていました。幕府はこころを将軍さまのお狩場にきめて「鳥見屋敷」という野鳥や動物を保護する役所を作りました。この役人はたえず鳥やけものエサをまいては割れさせ、よそへ逃げてしまわないようにしていました。将軍さまのお狩りの時には、足もとにひそかにエサをまき、集まってくる野鳥めがけて将軍さまが矢を射るといった様子でした。そうとも知らず将軍さまは大満足、「ものども、これを見よ、余はみずから、こんなにもしとめたぞ、やあ、めでたい、めでたい」と喜んでいました。当時の将軍さまの狩りとはこんなものだったのでしょうか。狩りのときにつくった築山はお成塚と呼ばれ、現在でも「お成塚通り」や「お成塚橋」の地名として残っています。



錦絵「徳川十三代将軍御鷹野之図」

「いたばしの歴史に残る50人」より

おおた どうかん
太田道灌
 永享4年(1432)~文明18年(1486)
 扇谷上杉氏の家宰。西台にある圓福寺の開祖。長禄元年(1457)に江戸城を築きました。文明9年、豊島勘解由座衛門・平右衛門兄弟らと対立し、江古田原(中野区・練馬区境)で合戦となり、これを破りました。同18年、相模国中部榎屋の館(伊勢原市)で謀殺されました。



エコポリスセンター

エコポリスとは人と環境が共生する都市のこと。環境に配慮した地域にやさしいライフスタイルの普及・促進をはかるための様々なコーナーや資料が充実しています。
 所在地 前野町4-6-1
 電話 03-5970-5001
 開館時間 9時~17時
 休館日 第3月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



清水坂

旧中山道で最初の難所で志村の台地から荒川流域の低地に下る急坂で、途中大きく曲がっていて街道で唯一富士を右手に一望できる名所であったと言われています。名前の由来は、坂を下っていくと、街道の右側に大善寺があり、ここで八代将軍吉宗が鷹狩りの折に休憩した際、この崖からの湧き水の見事さに寺の本尊薬師如来を清水薬師と命名したことにより、やがてこの坂も清水坂と呼ばれるようになりました。
 所在地 志村2-7付近



純国産写真フィルム発祥の地

小豆沢一帯は以前、大日本セルロイド(現ダイセル)があり、セルロイドを利用して写真用のロールフィルムを製造する部門を設け、昭和6年に試験生産を始めました。その後、富士フィルムが独立。フィルムベースから一貫して生産したのは富士フィルムが初めてで、まさに純国産フィルム発祥の地です。
 所在地 小豆沢3-9



出井の泉跡

崖下の湧水が泉を作り、出井川の水源の一つになっています。江戸時代より名泉として知られており、現在でも水が湧き出ています。例年6月頃にはあじさいの花が咲き誇り美しい姿を見せてくれます。
 所在地 泉町24-6



START!
 都営三田線
 本蓮沼駅

GOAL!
 都営三田線
 志村坂上駅

- ① 氷川神社 [蓮沼町48-4] 3分
- ② 南蔵院(南蔵院のしだれ桜) [蓮沼町48-8] 2分
 江戸時代初期に創建されたと伝わる真言宗寺院で、八代将軍吉宗の鷹狩りの際の休憩所でした。境内には、承応2年(1653)に旧蓮沼村の庚申待講によって造られた丸彫り地蔵の庚申塔があり、このしだれ桜は境内の不動堂などを背景として花の季節には見事な眺めとなります。
- ③ 長徳寺 [大原町40-7] 9分
- ④ 熊野神社 [前野町3-38-3] 9分
- ⑤ 常楽院 [前野町4-20-8] 6分
- ⑥ 見次公園 [前野町4-59-1] 3分
 昭和28年4月に開園され、面積約14,000平方メートルのうち約45%が手こぎポート池になっています。自然の湧水をたたえた見次公園は、ゆったりとした時間を過ごすのに適した公園です。(4~10月 土・日・祝のみ)
- ⑦ 延命寺 [志村1-21-12] 6分
 大永4年(1524)志村城をめぐる戦いで自分の子供が討ち死にするのを目にした見次権兵衛が、世の無常を悟り、自らの屋敷を寺としたと伝わる真言宗寺院です。境内には、区内最古の建長4年(1252)の板碑やいぼ取りの通称「蛸薬師」として信仰をあつめた正保4年(1647)の庚申塔があります。
- ⑧ 志村城跡と熊野神社 [志村2-16-2] 15分
- ⑨ 富士大山道道標・庚申塔 [志村2-7] 14分
 相模国にある大山や甲斐国・駿河国の富士山に登山、参拝する人々が通った道。この先は下練馬宿のある川越街道に出て、石神井川に向かう富士街道になります。入り口に立つ道しるべは寛政4年(1792)の造立で正面には「是より大山道井ねりま川こへみち」と刻まれています。右に立つ庚申塔は万延元年(1860)の造立で、正面には庚申塔と刻まれ、左側には、「是より富士山大山道 練馬江一里 柳沢江一里 府中江七里」とあります。

- ⑩ 薬師の泉庭園 [小豆沢3-7-20] 4分
 八代将軍吉宗が大善寺に立ち寄った際、境内に湧く清水を見て、ここの薬師像を清水薬師と命名。資料をもとに当時の庭園が復元されています。
- ⑪ 御手洗不動 [小豆沢4-17] 3分
- ⑫ 水上バス小豆沢発着場 [小豆沢4-28] 7分
 新河岸川、隅田川、東京湾、荒川、岩淵水門を巡る水上バスが運行されています。(注:特定日に運行)
 乗船申込 東京水辺ライン
 電話 03-5608-8869
- ⑬ 龍福寺 [小豆沢4-16-3] 9分
 室町時代末に袋町の真頂院の住職運珍和尚が、創建したと伝わる真言宗寺院です。境内には、平安時代に台地下にひろがっていた七々子崎という入江で発見されたとの縁起をもつ薬師如来を祀っています。建長7年(1255)の板碑など数基の板碑があって、「板碑の寺」として有名です。
- ⑭ 小豆沢神社 [小豆沢4-16-5] 12分
- ⑮ 戸田橋親柱 [小豆沢3-8] すぐ
 昭和53年に現在の戸田橋に架け替えられる前の東京側の親柱。左の親柱背面には銅版が埋め込まれていて由緒と仕様が書かれています。埼玉県側の親柱は現在戸田競艇場の東側にある戸田橋親水公園の入口にあります。
- ⑯ 志村一里塚 [志村1-12-小豆沢2-16] 3分
 江戸日本橋から数えて三番目の一里塚。当時の姿を残しているのは都内でも2ヶ所しかなく、国の史跡にも指定されています。

崖線沿いに湧水が豊富だったころの遺跡や名所・旧跡が点在し工業地域の顔を併せ持つエリア

いたばし
まちあるきマラソン
志せたら

★は板橋十景です

！ 神社・仏閣の見学・拝観にあたっては、マナーを守りましょう。